

風と大地



第39号

庄内町農業委員会

令和6年10月1日

農地パトロールを実施しました



農地の 適正利用・適正管理

令和6年7月25日からの大雨により、農地・施設への土砂流入等の被害にあわれた方に、深くお見舞い申し上げます。

さて、今年度の農業委員による、農地パトロールを8月上旬に行いました。常に各委員により適正な農地利用・転用許可の利用状況を見守っています。その中でも、適正な管理が行われていない土地所有者、耕作者には注意喚起しています。

そんな中、複数年、改善がみられない場所もあります。雑草繁茂、不適正利用、不法投棄と思われるがちな所があり、耕作不能地と判断される農地もありました。後継者と受委託が適正に引き継がれていない関係ではないでしょうか。今後、同様のことが起きないように、近隣者と農業委員会へ相談し、遊休農地を無くし、景観の良い農地になるように適正管理をお願いします。

(石川 義則)

見えてきたぞ就農者の育成 8/27 農業委員視察研修「鶴岡市立農業経営者育成学校」

鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS（シーズ）」は、旧いこの村庄内を改装し令和2年に開校。「有機農業をはじめ持続可能な農業の技術・経営を、座学と実習を通じて学ぶ場」として設置されました。対象者は、新規就農を目指す方や、市在住のみならず他県からの移住、親元就農の際の農業技術の習得など幅広く、研修期間は2年で、年度ごとの募集定員は10名。研修内容は週4日程度の実習と座学があり、週3日程度は自由に過ごせますが、空き時間には収入の確保や地域との交流の観点から農家アルバイトを推奨しておりその紹介等もしています。

研修の特徴は、①基礎の基礎から教えます ②地域の先進農業者のもとで学べます ③就農プラン実現に併走しますの3つからなり、行政・JA・民間企業・教育機関が協力し合って運営していることもあって、就農時やその後の経営安定化などサポートも手厚いものとなっています。また他県などが

らの移住営農者には空き家の情報提供や農地の斡旋もやっているそうです。年間の学費は12万円。宿舍使用料は、光熱水費として月額1万円、週5日の夕食費を月8千円で提供しています。この制度は、本町を含む庄内南部1市2町の協議会の再編で広域化する方向であり、現在本町から1名が研修中とのこと。

今後の運営は暗中模索との話でしたが、修了生はすでに就農しており、大きな期待の持てる視察でした。（日下部 美雄）



庄内町5団体交流会開催

去る8月27日、余目町農協生活

センターにて、第17回庄内町5団体交流会が開催されました。この交流会は、庄内町議会、庄内たがわ農業協同組合、余目町農業協同組合、庄内町農業委員会、最上川土地改良区といった庄内町の農業関係5団体が一斉に集い、組織の枠を越えて農業、農政等の意見や情報交換を行い、お互いの親睦を深める為に毎年行われます。今回は町長をはじめ町議会議員、農業委員、両農協及び改良区役職員の方々が総勢80名程が参加しました。少し前まではソフトボール、グランドゴルフ等の軽スポーツを行って交流をしていたとのことでしたが、講師として酒田河川国道事務所流域治水課の柴田課長より、「最近の出水と流域治水の推進」という演題で講演いただきました。7月25日の大雨災害では本町において人身被害は無かったものの、農林関係では10数億円以上の被害があり、気候変動による水災害の激甚化を目の当たりにした



ようで、最上川流域の水位観測所の数値は7箇所史上1位を記録、大雨特別警報が1日に2回発表されるといった異常事態でありました。講演では増大するリスクに備え、「最上川流域治水プロジェクト」を推進し、地域の特性や生業を踏まえた農業や雪対策と連携した対策について説明がありました。最上川のみならず流域全体のあらゆる関係者が協働し、被害を軽減させることが大事であると参加者全員が学びました。

（日下部 崇喜）

地域計画（目標地図）策定への取り組み

農業経営基盤強化促進法が改正され、従来の「人・農地プラン」は「地域計画」と名称が変わり、令和7年3月末まで各市町村が計画を策定しなければなりません。

現在、市町村毎に「地域計画」策定に向けた取り組みが進められており、庄内町においても令和5年度から各地域ごとに地域計画策定に向けての話し合いを進めております。

「地域計画」は、地域の農業と農業者の10年後のあるべき姿を実現するために作る計画であり、『地域の話し合い』が重要なカギになります。

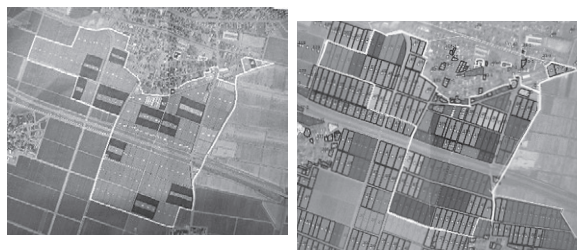
「目標地図」で将来の農地利用の姿を明確にしていきます

「目標地図」は、「10年後の将来、誰がどこの農地を作っていくのか。」を地図として明確にしたものです。「地域計画」の策定にあたっては、「目標地図」が必要になります。

「目標地図」作成の流れ

① 各集落の生産組合単位での話し合い

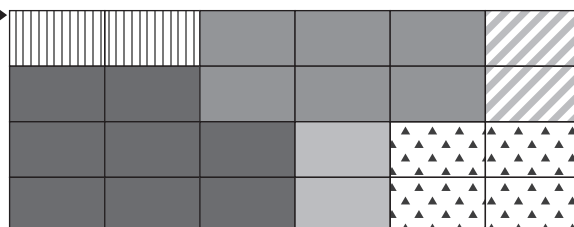
70歳以上の耕作者が作っている農地、規模縮小したい人が耕作している農地について、10年後誰が作っていくのか、話し合ってもらいました。



② 話し合いの結果を地図に反映させる

生産組合の話し合いの結果を、地図に反映させ、耕作者ごとに色別に表示します。

目標地図の素案



③ 地域計画の策定エリアごとに話し合い

令和7年の年明け以降、策定エリアごとに話し合いを開催し、完成していく予定です。

地域計画の策定エリア

- JAあまるめ
- 庄内たがわ農協新余目第一支所
- 庄内たがわ農協新余目第二支所
- 庄内たがわ農協新余目第三支所
- 庄内たがわ農協新余目第四支所
- 立谷沢・清川 ● 狩川 ● 添津
- 三ヶ沢 ● 千本杉 ● 桑田

④ 目標地図の完成

目標地図は、農地の貸し借りについての権利設定をする際の参考にします。



令和7年4月以降は、この目標地図で予定した10年後の農地利用の姿を目指した取り組みが始まります。完成したら終わりというのではなく、より良くするために毎年話し合いを継続していきますので、ご協力をお願いいたします。

ダマです! 違反転用

●許可なく転用した場合や、転用許可に係る事業計画どおりに転用していない場合等は、農地法に違反することとなり、工事の中止や原状回復等の命令がされる場合があります。(農地法第51条)

●罰則の適用もあります。(農地法第64条、第67条) 違反転用すると個人は3年以下の懲役または300万円以下の罰金が科せられます。

- ☒ 資材置場にした
- ☒ 駐車場にした
- ☒ 産廃の捨て場にした
- ☒ 建設残土の捨て場にした
- ☒ 農業用施設を建てた*

*自己所有農地に2a未満の農業用施設を建てる場合は許可を要しないこととなっていますが、届け出は必要です。まずは農業委員会にご相談ください。

農地中間管理事業(やまがた農業支援センター)を通して、農地を貸したい、借りたい方の『令和7年作の申し込み』は令和6年11月29日(金)で終了します。

経営移譲、離農、耕作者変更、法人化をお考えの方は早めにご相談ください。

やまがた農業支援センターからお知らせです

令和7年から農地中間管理事業の利用には『手数料』のご負担をお願いします

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることといたしました。

なにとぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 対 象 令和6年10月公告以降に契約なるものから順次
- 手数料の額 年間賃料に0.75%を掛けた額
(年間賃料が一万円の場合の手数料は75円)
- 納付の方法 毎年の賃料支払・納入時

詳しくは やまがた農業支援センター (023-631-0697)
又はセンターのホームページをご覧ください

農業者年金で安心して豊かな老後を!

農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

年間60日以上
農業に従事

国民年金第1号被保険者
国民年金保険料納付免除者を除く。

65歳未満
60歳以上は、国民年金の
任意加入被保険者

- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。
- あなたの老後生活への備えは十分ですか?
- 途中脱退、再加入も可能です。



※1 農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金(付加年金保険料月額400円)への加入が必要です。

※2 農業者年金と国民年金基金(旧みどり年金を含む)及び個人型確定拠出年金(イデコ)とは重複加入できませんのでご注意ください。

※3 納めた保険料は、脱退後も農業者年金基金が運用を続け、将来、年金として支給します。そのため、脱退一時金はありません。

編集後記

梅雨末期の大雨被害は出穂を控えた水田に大きな影響を与え、昨年産米不足から来る出来秋の価格上昇期待から、今年産米の品質への影響についての不安へと切り替わりました。しかし、泥水の中で数時間から数日冠水したにもかかわらず、種を保存し次世代へ繋ぐという植物の生命の力強さにはいつも感動し考えさせられます。

年度末まで地域計画の策定に向けて各地域で調査・検討が進められております。耕作している農家のみなさん、今後我が家の農地について、農家としてもどのようなようにしていくのかについて話題にするきっかけにしたいと思っています。(阿部 金一郎)

編集委員 (農地部会)

部会長 日向 弘明
副部会長 阿部金一郎

高梨美代子 秋葉 俊一

日下部崇喜 石川 義則

日下部美雄 高橋 義夫

佐藤 繁